

新工場建設（瀬戸工場）に関するお知らせ（続報） ～サステナビリティを重視した環境配慮型工場～

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 黒野 透、以下 日東工業）は、2024年春、愛知県瀬戸市に電気機器収納用キャビネット等を生産する新工場の稼働開始を予定しています。

新工場は、環境負荷低減に考慮するほか、デジタルトランスフォーメーション(以下 DX)を採り入れたスマートファクトリーを目指しています。その工場概要についてお知らせいたします。

■新工場の概要

名称	日東工業株式会社 瀬戸工場
所在地	愛知県瀬戸市八床町22番の4
敷地面積	253,898 m ² （事業開発面積）
延床面積	工場棟47,760 m ² （一部2階）、その他棟2,150 m ²
工場概要	鉄骨造・2階建て
生産品目	キャビネット・ブレーカ・システムラック・光接続箱・熱関連機器など
従業員数	約300名
稼働	2024年 春

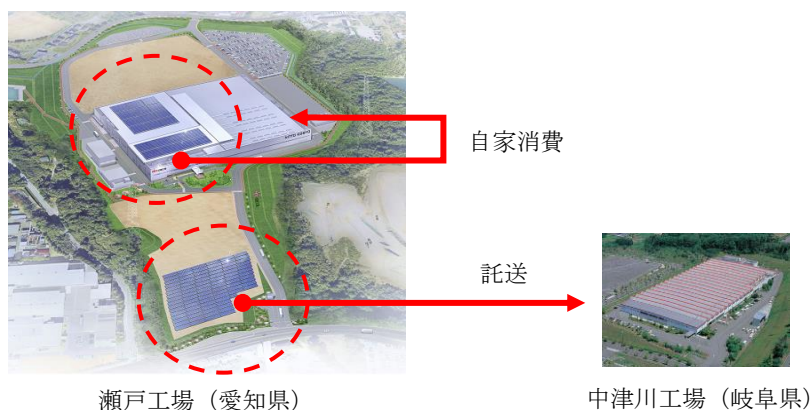
【瀬戸工場 完成予想図】 樹木を植栽し緑化に努め、四季を感じる公園工場に



■新工場の特徴

(1) サステナビリティを考慮した工場

- ・工場の屋根に太陽光発電システム（パネル容量 1,312 kW）を設置し、発電電力を空調・照明・各種生産設備に使用するほか、蓄電池設備を導入し、事務エリアの防災電源を確保します。また、不足電力はカーボンフリー電力を購入することにより 100%再生可能エネルギーで電力を賄う環境配慮型最新生産工場となります。
- ・CO₂削減に向けた取り組みとして、工場南側敷地に太陽光発電システム（パネル容量 1,134kW）を設置し、発電した電力を当社中津川工場へ託送します。
- ・来客、社員駐車場に EV 充電設備（100 台）を順次設置します。
- ・省エネ空調、高効率機器の導入、断熱性能向上、工場屋根から自然光採光などによる大幅な省エネ化を図るとともに、創エネによるエネルギー収支ゼロを目指した ZEB の取得を予定しています。（2023 年度申請予定）



(2) DX を採り入れたスマートファクトリー

- ・DX を推進し、当社独自のスマートオーダーキャビネットの生産システムを導入します。当社標準キャビネットをベースに、お客様が欲しい製品データ（サイズ、穴加工、色など）を入力します。そのデータを生産設備に活用することで自動かつ多品種少量生産に対応できる画期的な生産システムで、お客様が要求する仕様・品質の製品を最適な価格・納期でお届けすることを可能にします。また環境にも配慮したシステムで、ご不要な部品を指定することにより、お客様の廃棄物削減に寄与するなどご満足いただける新しい価値を提供します。
- ・仕様、生産、出荷情報をシステム化し一括管理することで価格、納期の見える化を実現します。

そのほかにも従業員の作業負荷軽減、大空間休憩ルーム・オールジェンダートイレ・ウォーキングコースの整備、四季を感じる公園工場にすることで働きやすい職場環境を目指します。

日東工業は、これからも持続可能な社会の構築に貢献し皆様のお役に立てるよう、全力を挙げて取り組んでまいります。

以上